

# 白光園全館の御案内が 4月1日より変わります。

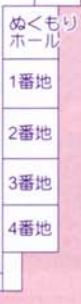
## ふれあい通り

ふれあい通りでは、利用者同志の関わりを大切にすることを心掛け支援しています。お茶会、趣味活動、軽作業を共にする中で、自然とお互いに触れ合い、寄り添い助け合う、すばらしい関係ができています。自らの役割を見つけ、生き生きして過ごされる方も多いです。利用者の皆さんの力を引き出せるよう職員も頑張っています。



## ぬくもり通り

私達、ぬくもり通りは、ショートステイの利用者の方が主に利用なさる通りです。自宅が近所であったり、古い友人であった方が偶然一緒にご利用になり「あら久しぶり」「なんとしたご様子」と話もはずみます。利用者の皆さんに負けず職員も「笑顔こそ最高のサービス」と明るい笑顔で介護させて頂いています。大勢の皆さんにご利用頂きますよう、お待ちしております。



## であい通り

今まで～棟という名称でしたが街をイメージした案内表示になります。私の家は〇〇〇通り1丁目3番地です。という呼び方になります。案内表示を見て頂きご面会ください。どのような事でもお気軽におたずね下さい。



## ほほえみ通り

ほほえみ通りでは、利用者との楽しい時間を過ごす一つとして外食やショッピングを行っています。他にも、毎日紅花会(集まり)を開き利用者とお茶を飲みながら話しをしたり日々楽しく過ごしています。



# 白鷹福祉会に求められるもの

白鷹福祉会理事長 新野 晃敏

平成十四年は景気の低迷による失業者数の増加や若者の就職難等、つらく厳しい事のみが印象に残る一年だったようですが、それだけに皆様には今年こそ希望に満ちた素晴らしい年であつて欲しいとの願いを込めて、新春を迎えられた事と存じます。

私は丁度一年前の二月に発行された「白寿」の第13号に理事長代理として、「真の長寿社会を目指して」と題する巻頭言を書かせていただきましたが、昨年九月に、それまで白鷹福祉会の三代目理事長として辣腕を振られた小川氏が、一身上の都合により辞任され不肖私がその後

任に選出された為に、理事長就任のご挨拶を兼ねて改めて寄稿させて頂いた事となりました。もとより浅学非才の身、一法人四施設と言う大きな白鷹福祉会の舵取り役として、その職責を全うする自信はまだありませんが、可及的微力を尽くさせていただきますので、皆様には何卒よろしくお願い申し上げます。

一年前の「白寿」第13号で私は、「介護保険制度が始まってから施設への申し込みが増え待機者が急増した。介護保険料をきちんと払い施設サービス希望しながら入所できない大勢の待機者を、ただ手をこまねいて見て

いる訳にはいかない。その為には第二の特別養護老人ホームを建設する必要があるが、その場合には新しい時代に即応した、今までより以上に人権やプライバシーに配慮した施設を考える必要がある」と書きました。

この基本方針に関する限り今も全く変わりはないのですが、新しい施設をつくる場合に心すべき事は、まず現在施設で働いている全ての職員と利用者の生活を守る事が前提になると言うことでしょう。いま施設入所を待つておられる方からはお叱りを受けるかも知れませんが、待機者の解消を急ぐあまり過剰な設備

投資を行い、万が一にも経営破綻を来たすようなことがあつては、それこそ元も子もありません。厳しい財政状況下で新しい施設をつくることは大変ですが、町ご当局との協議を基本に据えながら、白鷹福祉会の理事役員や職員と相談し検討を進めて参りたいと考えておりますので、関係各位には今後とも倍旧のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

